

総合的な学習の時間

佐木島探究

～佐木島でやりたいことをやってみよう～

日時：9月11日（月）第5校時

学年・学級：5年生（4名）

6年生（1名）

育成をめざす資質・能力：主体性・協働性 課題解決力 表現力 知識・技能 指導者：神谷 佳苗

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

佐木島は人口約600人の離島である。島ではみかんやメロンなどの果物が作られており、きれいな海に囲まれている。一方で過疎化が進んでおり、島を訪れる人や農業などの後継者がいないことが深刻な問題である。しかし島民の方々はとても親切で優しく、学校に対しても協力的で子どもたちのことを大切に思ってくださっている。

本単元では島の物や人と関わることで、「佐木島が好き」という気持ちを高め、「佐木島でたくさんの人たちに支えてもらっている」ということに気づき、佐木島のために何かしたいという気持ちを高めていきたい。また、佐木島に関わる探究活動を通して主体性や、課題解決力、表現力を育成することにつなげていきたい。

児童の実態

本学級の児童は全員島外に住んでおり、船に乗って通学している。これまでの活動を通して、島の有名な物や場所、人について、ある程度理解ができていたが、島の方々に支えられているという実感が薄い児童もいる。

7月に行った二中校区アンケートでは、「総合的な学習の時間において自分で課題を立てたり、情報を整理したりしている」の項目では5人中3人が否定的な回答であった。また、「地域や社会をよくするために何かしたいと考えたことがある」の項目は5人中2人が否定的な回答であり、地域に愛着をもち、地域のために行動しようという気持ちを高めることができていない現状である。しかし、「将来の夢や目標を持っている」「自分でやると決めたことはやりとげる」の主体性の項目は肯定的な回答が多く見られ、今回の個人探究のテーマ設定も主体的に考える姿が見られた。

学習の題材

本題材では、児童が佐木島の物を使ってやってみたいこと（探究テーマ）を自分で決め、やってみたいことを実現するためにはどんな情報や道具、人材が必要か考えながら学習を進めていき、課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現の過程を自分で考えていく。探究活動を行う中で佐木島のよさを知ったり、佐木島の物や人とふれあったりすることを通して、島の人に支えられていることに気づき、探究した内容を佐木島のために生かしたいという真の探究課題につなげることができるようにする。探究テーマは一人ひとり違うが、助けが必要な時は友達の手助けするなどして協働的に学習を進めることができるようにする。11月に行われる「さぎっ子祭」は地域の方が学校に来られるので、このさぎっ子祭で自分たちの活動を見ていただいたり、経過を報告したりする場として設定することで、目的をもって探究活動を行うことができるようにする。そして最終的には3学期に「感謝の会」を行い、自分たちが行った探究活動を生かしてお世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝えることができるようにする。このように自分たちの思いをもとに活動を行っていくことで主体的に考えたり、計画を進める中で課題を解決したりすることを通して資質・能力を高めると共に、佐木島の物や人と触れ合うことで郷土愛を育むことができる題材である。

単元の目標

佐木島の人や物と関わりながら自分がやってみたいことを計画・実行していく活動を通して、佐木島のよさや支えてくれる人たちの存在に気づき、佐木島のためにできることを考え、これからの生活に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○ 広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

自分の思いだけで計画を進めていくのではなく、立ち止まって検討する機会を設定し、詳しい人から話を聞いたり、自分で調べたり、友達から意見をもらったりすることで、多様な角度から自分の活動を見直すことができるようにする。

○ 実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

計画通りに進めたり、実現させたりすることは想像以上に難しいことを経験し、計画を綿密に立てることの大切さや、問題が起きた時には周囲に聞いたり協力したりすることで解決できることに気づくことができるようにする。そのために児童の思いをもとに一人ひとりが活動計画を立て、定期的に見直しをする時間を設けていく。また児童の探究テーマに見合った人材をピックアップしておき、支援してもらえるようにする。

(2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

5年生

○ 国語科…知りたいことを聞き出そう

インタビューをして調べる際に、意図を明確にして聞くことと関連付けて活動を行っていく。

6年生

○ 国語科…目的や意図に応じた書き方

調べたことをまとめる際に、目的を意識したまとめ方を行うことと関連付けて活動を行っていく。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

必要な情報を検索したり、写真や動画を撮ったり、ミートを活用してインタビューを行ったりする。また、ジャムボードで考えを整理して視覚的に分かりやすくする。

○思考ツール

Y チャートで考えを分類したり、ステップチャートを活用して活動の流れを順序だてて考えたりすることができるようにする。

3 単元の評価

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動における評価規準	
知識・技能	知識	佐木島の土地の様子や産業を理解している。	
	技能	調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。	
	探究的な学習のよさの理解	自分の問いは、計画を立てて調べたり、誰かと協力したりすることで解決することができるという探究的な学習のよさを理解している。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	課題解決力	佐木島のためにできることをもとに課題を設定し、解決の見通しをもっている。
	「情報の収集」		個人探究を行う上で必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、蓄積している。
	「整理・分析」		課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。
	「まとめ・表現」	表現力	相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。

主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	相手の話を聞いて自分の考えを見直したり、相手の考えを受け入れたりしようとしている。
	主体性・協働性	探究テーマを自分で決め、計画を立てて調べたり、協力して活動を進めたりしようとしている。
	将来展望・社会参画	実社会や実生活の問題の解決のために、自分ができていることを考えたり実践したりしようとしている。

(2) 単元の評価基準 (本校で育成を図る資質・能力のルーブリック)

知識・技能および 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性・協働性】 自分で決めて行動する力	自分で考えながら計画を進めようとしている。	自分で考え、さらに友達や地域の人と協力して計画を進めようとしている。
思考・判断・表現	【課題解決力】 課題を解決する方法を考える力	自分で解決方法を考えて、課題を解決している。	友達や地域の人と話し合いながら、よりよい方法を自分で選び、課題を解決している。
	【表現力】 自分の考えを表現する力	自分なりの方法で、自分の考えを表現している。	相手や目的を意識して自分の考えを表現している。
知識・技能		佐木島の特産品や土地の特色を理解している。	佐木島の特産品や土地の特色を理解し、理解したことを生かして活動している。

4 指導計画 (全52時間 本時12/52)

♥だるまプラン：ショック多発型

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマの決定・仮の探究課題の設定・探究 (22時間)	課題の設定 主 課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度までの総合的な学習の時間の内容をふりかえる。(1) ○ 今年度やってみたいことを考える。(1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仮の探究課題：佐木島のものやよさをいかして、佐木島のためにできることを考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言
	情報の収集 主 課 整理・分析 主 課	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れを確認する。(1) ○ 単元でつける力の確認をする。ルーブリックを作成する。(1) ○ 自分が行うことをふせんに書き出す。(1) ○ 必要な協力者を考える。(1) ○ 活動内容を行う順に並べ替える。(1) ○ 自分の活動に必要な情報を集め、制作等を行う。(4) 	
	課題の設定 主 課 情報の収集 主 課	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仮の探究課題：みんなの計画を実現させるためにはどうすればよいか考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ♥ 実際にやってみると難しい！大変！まだできない… ○ 活動計画をたてる。(1)本時 ○ 活動計画をもとに活動を行う。(10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物

真の探究課題の設定・探究 (17時間)	整理・分析 主 課 課題の設定 主 課 情報の収集 主 課 整理・分析 主 課 まとめ・表現 表	<p style="text-align: center;">♥ 佐木島には自分たちを支えてくれる人がたくさんいる！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 真の探究課題：自分たちを支えてくれている佐木島のために、自分たちの経験を今後を生かす方法を考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ さぎっ子祭での表現方法を考える。(1) ○ さぎっ子祭での発表の内容を考える。(1) ○ さぎっ子祭に向けての準備をする。(5) ○ お互いに準備したことを見合い、アドバイスをし合う。(2) ○ アドバイスをもとに修正を行う。(2) <p>【さぎっ子祭】(学校行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ さぎっ子祭での地域の方からの感想を読み、活動を振り返る。(1) ○ 活動のしあげを行う。(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ ジャムボード ・ スライド ・ 発言 ・ 制作物
活動のまとめ・評価 (13時間)	課題設定 主 課 情報の収集 主 課 整理・分析 主 課 まとめ・表現 表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「感謝の会」の内容を考える(2) ○ 「感謝の会」の準備を行う(5) ○ リハーサルを行い、修正を行う(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感謝の会」を行い、これまでの取組について発表する。(2) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感謝の会」の感想を読み、活動を振り返る。(1) ○ 来年度の見通しをもつ。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 準備物 ・ 振り返り

5 本時の学習

(1) 本時の目標

自分と友達のスケジュールを比較することを通して、全員の計画を実現するための方法を考えて活動計画をたてることができる。

(2) 本時の評価基準（課題解決力のルーブリック）

B：友達の計画を見て、全員の計画を実現する方法を考えて活動計画を立てている。

A：友達の計画を見て、全員の計画を実現するために自分ができることを入れたり、スケジュールを調整したりして活動計画を立てている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
導入 5分	<p>1 前時までの学習を想起し、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【いかだ・生き物グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかだは寒くなると乗れなくなるから急いだほうがよさそう。 ・生き物も冬になったらいなくなるから秋までに探したほうがいい。 <p>【みかんグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月位になるとみかんがおいしくなると言われていたから、おいしいみかんで作りたい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みんなのテーマを実現させる方法を考えて活動計画を立てよう。</p> </div> <p>・本時で育成を図る資質・能力…課題解決力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動内容によって、早く取り掛かったほうがいいものと、あとから取り掛かることしかできないものがあることを確認する。

<p>展開① 10分</p>	<p>2 どんな方法で活動を行えば計画が実現できるか話し合う。</p> <p>・いかに作りや生き物探しは寒くなるとできなくなるから早く始めたほうがいい。</p> <p>・竹を切る作業がまだ大変そうだからみんなでやったらいい。</p> <p>・みかんは、初めは忙しくないから、友達の活動を手伝えると思う。</p>	<p>○ ワークシートに自分の考えを書き、ペアで交流させる。</p> <p>○ 児童の意見から「友達同士で手伝う」「クラス以外からも協力者を集める」「スケジュールを調整する」の3つの視点を持たせるために、自分だけでは難しい活動はどうすれば活動しやすくなるか考えさせる。</p>
<p>展開② 20分</p>	<p>3 みんなの課題を達成するための全体計画を立てる。</p> <p>① ジャムボードの共同編集のシートに自分の計画を書いた付箋を貼る。(○月までになど期間も書き足す)</p> <p>② 友達の計画を見て、自分にできることを付箋に書く。</p> <p>③ 計画全体を見て、みんなのテーマが実現できそうか交流する。</p> <p>・竹を切る作業が一番大変だから全校に声をかけて一緒にやろう。(クラス以外から協力者を集める)</p> <p>・冬になったら生き物は少なくなるから、10月くらいまでにいろいろな場所をまわるようにしましょう。(スケジュールの調整)</p> <p>・みかんは、初めは取れなくて活動に余裕があるからいかに作りを手伝おう。(友達同士で手伝う)</p>	<p>○ ジャムボードを共同編集できるようにして、1枚のシートに全員の計画を貼り、友達の計画と自分の計画を見ることができるようになる。</p> <p>○ 付箋がなかなか書けない児童には、他の児童の状況を付箋で確認させ、自分のスケジュールを見たらうえで自分にできることを考えることができるようになる。</p> <p>○ 交流する時は1つのクロムブックだけを使い、話し合いながら活動計画を考えることができるようになる。</p> <p>★ みんなのテーマを実現させる手順や方法を考えて活動計画を立てることができる。(ジャムボード・発言)</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 学習したことを振り返る</p> <p>気候をもとに優先順位をつけたり、ゴールの時期を意識して計画を立てたりすればよい。</p> <p>6 振り返りと今後の見通しを持つ。</p> <p>・みんなで協力してみんなのテーマを実現させたい。</p> <p>・みんなで協力すればできそう。</p> <p>・友達が大変な時は手伝って完成させたい。</p>	

6 板書計画

④ みんなのテーマを実現させる方法を考えて活動計画をたてよう。

いかに・生き物

- ・寒くなるとできなくなる

みかん

- ・12月位になるとみかんがおいしくなると言われていたから、おいしいみかんで作りたい。

- ・優先順位をつける
- ・ゴールを意識する
- ・協力する

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
A児						
B児						
C児						
D児						
E児						

⑤ 気候をもとに優先順位をつけたり、ゴールの時期を意識して計画を立てたりすればよい。